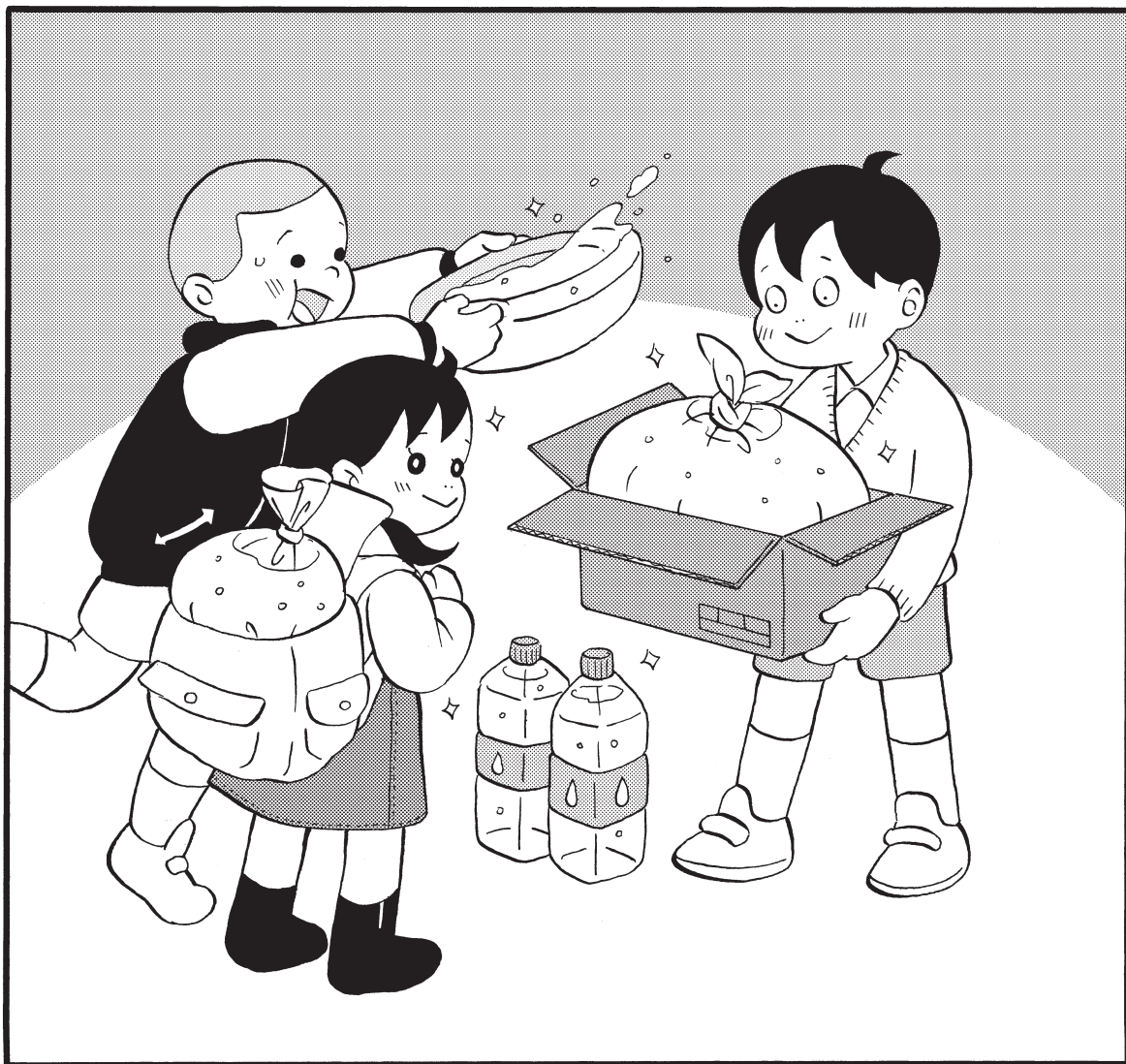




ひ さい せい かつ く ふう
【被災生活の工夫】

いろいろな物に水を入れる

- ▶ ポリ袋と段ボールでバケツをつくる
- ▶ リュックを使うと運びやすい



いろいろな物に水を入れる

■ 状況シートの説明



▶ 場面ごとの説明

- ① 水道が止まっているため、給水車が来ました。「これから水を配ります」という声が聞こえました。
- ② 「給水車だ。ぼくたちも並ぼう」。みなとくとみさきちゃんは、急いで給水車の所へ行き、列に加わりました。
- ③ ようやく、みなとくとみさきちゃんの番になりました。「あれ？ きみ、入れ物は？」と係の人に聞かれました。その時、みなとくんは「〇〇〇〇〇」

▶ セリフの例 (気持ち)

「持っていません。どうしよう」
 「入れ物も、もらえるんだと思って」

▶ 発問例

- ・ みなとくんのようにならないためには、どんな物を準備しておくといいですか？
- ・ 水をもらいに行く時に、家にある物の中でどんな物が使えますか？

■ 教訓シートの説明



- ・ 地震で水道が止まったら、給水車が水を持ってきてくれます。
- ・ 給水車に水をもらいに行く時は、バケツや水タンクなどを持って行きます。
- ・ 災害に備えて、たくさん水が入る容器を準備しておきましょう。

▶ ポリ袋と段ボールでバケツをつくる

- ・ 給水車の水は、きれいで飲むことができます。
- ・ 段ボールや汚れているバケツにポリ袋をかぶせると、バケツの代わりになり、きれいな水のまま運べます。
- ・ ポリ袋を準備しておく、いろいろな物と組み合わせて水を運ぶことができます。

▶ リュックを使うと運びやすい

- ・ 水は、思っている以上に重いです。
- ・ 水タンクやポリ袋をかぶせた段ボールを、台車やキャリーカートに載せて運ぶと楽です。
- ・ 電気が止まり、エレベーターが止まってしまったら、マンションに住む人は階段を使って家まで水を持って上がらなくてはなりません。そのような時は、リュックの中にポリ袋を広げて水を入れ、運ぶと楽です。

■ 東日本大震災の教訓

給水車が来ても、入れ物がなかったために困った人がたくさんいました。給水車が水を入れる容器を持ってきてくれた場合でも、その数が限られていて、全員に行き渡らないこともありました。また、「ペットボトル、やかん、ポリタンクなど、水が入られる物を集めてたくさんためた」「水を運ぶのにはお散歩カー（幼稚園や保育園で散歩や外出時に使用する大型乳母車）を使った」「キャリーカートや手押し車も便利だった」など、家にある容器や運ぶ物を活用して、水を確保・運搬したそうです。